

片岡茂夫 東部地域の振興策について

問 県道総社足守線に接続する黒尾地内から429号バイパスまでの市道の整備計画はどうか。

答 県道総社足守線の拡幅工事については、県の考えは25年度に路線測量、26年度に用地の測量に入ると聞いている。西山の峠をこえる区間一部市道

900m、この区間を概算すれば7億5000万円かかる。県道の拡幅工事の進捗と併せ、県に格上げしてやってもらう方向で要望活動をしていきたいと考えている。(市長)

問 足守川、血吸川、砂川などの河川の災害対策は、ゲリラ豪雨、台風などによる増水に対してどのようなものか。

答 地域の集会で川の増水について厳しいご意見をいただ

いた。いずれも県管理の川であるので、県、岡山市とよく相談しながら整備に努める。(市長)

服部駅周辺整備について

問 駅東側踏切の改良工事を行う考えはないか。

答 服部停車場線についての踏切部分の拡幅は非常に難しいが、南側の縁石をどう撤去できるかを警察、岡山県立大学と話し合ってみる。(市長)



交通量に対し、狭い市道(西山)

笠原武士

人事考課制度の運用について

問 市職員の人事考課をどう考えるか。現在の運用はどうか。さらに、今後の改善点はどうかあるべきか。

答 人事考課制度は、人材育成が主眼である。「自ら考え自ら行動する職員」を目指している。運用としては絶対評価方式とし、各人が年間目標

を掲げている。途中で上司との面接を行い、フォローアップしている。現在は110人の課長補佐級以上を対象であるが、今後は全職員に広げていきたい。(市長)

ポイ捨て防止に関する条例の制定について

問 道路・田畑・山林へのゴミのポイ捨てをどう捉えているか。その原因究明と対策の実績はあるか。「総社市ポイ

捨て防止条例」の制定が必要と考えるがどうか。
答 ポイ捨ては特定の場所に集中していると考えられる。清掃や看板の設置も行っているが十分とは言えない。以前、ポイ捨ての身から判断して本人を割り出したことがある。警察とも相談し、本人責任で完全に清掃してもらった。今後の対策として、「総社市きれいな条例」の制定に向けて検討したい。(市長・副市長)



ポイ捨て要注意地点(総社北公園近くの林)

大熊公平

環境問題について

問 地球温暖化防止CO2削減のために市庁舎で緑のカーテンの取組を行っているが、目標値を掲げて市民への波及を考へてはどうか。

答 面白いアイデアとして、参考にしたい。(市長)
問 ISO14001を自己宣言にしているが、内部監査等きちん機能しているのか。

答 反省するところが多いにある。新年度から出来るだけ早く取り組む。(市長)

地産地消の取組について

問 地産地消が始まって約1年が経過しようとしているが、児童・生徒、保護者の反応はどうか。

答 非常に好評で、完食率が非常に高くなった。学校給食に対する安全・安心の信頼度が上がっている。(教育長)

問 どのような食育効果をもたらしたか。

答 食材への親近感、安心感、そして感謝の気持ちが高まってきた。(教育長)

問 これからの取組はどうか。

答 国の補助事業6次産業モデルを使い、野菜の加工にも取り組む。(市長)

答 品質の向上、規格の統一など、お互いに協議しながらできるだけ多くの食材を利用していく。(教育長)



CO2削減効果のある”緑のカーテン”



そうじゃ吉備路マラソン

丹下茂

スポーツ振興と観光について

問 スポーツの振興と観光は、地域活性化と経済効果に結び付けられないか。

答 今回、吉備路マラソンで北海道から沖繩まで、4県を除いて42都道府県の参加があった。人数では、1万5223人の参加者の中で、県外組は2500人少々であるが、

これは私は少ないと思う。この率を上げていくことが観光、スポーツの一体感だと思っしている。表裏一体のものと捉えていくということをして総社市としてこれからもやっていこうと思う。(市長)

問 観光施設や商店、企業、観光団体、スポーツ団体等と連携を密にできるスポーツコミッションによる体制作りを考えはないか。
答 今まで生涯学習課におい

て、マラソン、卓球大会、ピッチカップのような小学生のハンドボールの全国大会等は、単独開催にとどまっていたが、それで全国発信していくというのは無理だ。チームとしてやっていく必要はあると思うので、スポーツコミッションの立ち上げを、前向きに検討したい。(市長)